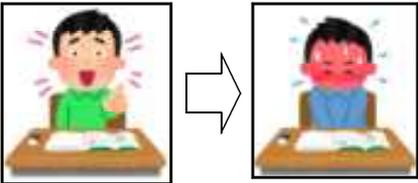


小学校版「SOSの出し方指導プラン」(小学校中学年)

- 1 ねらい 不安や悩みの対処法を知り、相談の練習をすることで、相談のよさを理解できるようにする。
- 2 準備 ワークシート スライド 電子黒板 パソコン 掲示資料 場面絵
- 3 展開

| 過程 (時間) | 主な学習活動 ☆：児童の反応 | 指導上の留意点及び支援 指：指示 発：発問 |
|------------|--|---|
| (5分) | <p>1. 本時のめあてをつかむ</p> <p>○具体的な場面のイラストから、こころがモヤモヤした時の気持ちを想像する。</p> <p>☆頭にくる。 ☆学校を休みたくなる。 ☆悲しくなる。 ☆嫌になる。 ☆イライラする。 ☆悔しくなる。</p>  <p>○本時のめあてを知る。</p> <p>・事前集会で使用したスライドから、「こころのモヤモヤ」をすっきりさせる方法を学ぶことを知る。</p> | <p>・自分だったらどんな気持ちになるかイラストから想像できるようにする。</p> <p>例示場面：「授業中、問題の答えが分からなくて、手をあげて発表できませんでした。そのことを友達にからかわれました。」</p> <p>発：「自分だったらどんな気持ちになりますか。」</p>  <p>・事前集会で使用したスライドを提示し、</p>  <p>集会の内容を想起させることで、本時の学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>発：「モヤモヤが濃くなったり、増えたりすると、心は何色に近づきますか？」</p> <p>めあて：「こころのモヤモヤ」をすっきりさせる方法を知ろう。</p> |
| (15分) | <p>2. 「こころのモヤモヤ」をすっきりさせる方法を知る。</p> <p>○「こころのモヤモヤ」をすっきりさせるために、どのような方法あるか考えて書き出す。</p> | <p>・つかむ過程で使用した場面絵を使って、みんなと同じようにできなかったり、友達にからかわれたりした場面で「こころのモヤモヤ」が出てきてしまった時、自分だったらどうすっきりさせるか書けるようにする。</p> <p>発：「自分だったらどんな方法で、こころのモヤモヤをすっきりさせますか？ワークシートに書いてみましょう。」</p> <p>・いくつか書いてもよいことを伝え、なかな</p> |

☆好きな物を食べる
☆本を読む・寝る
☆テレビを観る☆絵を描く
☆ゲームをする
☆お気に入りの曲を聴く
☆体を動かす・誰かに言う
○「一人だとできない方法」
と「一人で、できる方法」
を色分けする。

- ①一人だとできない方法→青
- ②一人で、できる方法→赤

○それぞれの方法のよさを知る。

・①のよさ
コミュニケーションがとれる、
助けてもらえる、
気持ちがすっきりする、
違う考えが出る

・②のよさ
すぐにできる、簡単にできる、
誰にも気にせずできる、人に
迷惑をかけない

(15分)

3. 相談のポイントを確認する。

○「相談の出し方さん」について、内容を知る。

○「相談の出し方さん」を使ってロールプレイをし、自分の気持ちを伝える練習をする。

か書けない児童には、これまでの経験を参考にするよう伝える。

- ・簡条書きで書くように伝える。
- ・望ましくない方法が出てきたら「こころのモヤモヤ」はすっきりしないことを確認する。

指：「『一人だとできない方法』は青で丸を付け『一人で、できる方法』は赤で丸を付けましょう。」

- ・出された方法が色分けできない場合は、赤と青が重なってもよいことを伝える。
- ・周囲の友達と相談しながら丸を付けてもよいことを伝える。
- ・児童に①の方法と②の方法をそれぞれ聞き、黒板に分けて書くことで視覚的に捉えられるようにする。
- ・児童から出された方法を振り返りながら、指導者がそれぞれの方法のよさについて知らせる。
- ・①の方法は、相手に自分の気持ちを言葉や表情、動作として伝えることであり、誰かに気持ちを伝えるよさにつなげる。
- ・②の方法もよい対処法であることを認め、一人では対処できなくなる前に、誰かに気持ちを伝えるとよいことを確認する。
- ・「相談することのよさ」(※)についてのプレートを黒板に掲示し、全員で確認する。

※誰かに話を聞いてもらえると、モヤモヤがすっきりしていく。

・「相談の出し方さん」プレートを黒板に提示し、視覚的に捉えられるようにする。

補助説明：「相談をする時に話せるとよいポイントがあります。「どんなことがあったか」(場面)「どう思ったか」(感情)「どうしたいか」(実行)の三つで、相談の出し方さん、といいます。」

指：「自分の考えに近い言葉に丸を付けて、相談の出し方さんを使いながら、相手に話す練習をしましょう。」

- ・本時は相談する相手を席が隣同士の児童とし、話を聞く側の児童は「うなずき」

| | | |
|-------|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「どんなことがあったか」「どう思ったか」「どうしたいか」を使い、自分の気持ちに近い考え方を選んで、相手に伝える方法を練習する。 ・自分だったらどんな言葉で友達に伝えるかを考えながらロールプレイをする。 ・自分から友達のところに行って、いろいろな友達とロールプレイをする。 <p>☆モヤモヤを話せてスッキリした</p> | <p>と「目を見る」ことを意識できればよいと伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで立場を交代しながら、練習ができるようにする。 ・時間に余裕があるときは、自分の考えを取り入れた台本でロールプレイをしたり、違う友達と演習をしたりするよう児童に伝える。 <p>指：「2回目は、自分の考えた言葉を入れてもいいです。」</p> <p>指：「違う友達とも、練習をしてみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイの後、友達同士で感想を伝え合える時間をもつようにする。 <p>発：「友達と練習をしてみて、気持ちはどうなりましたか？」</p> |
| (10分) | <p>4. 授業内容の振り返りをする。</p> <p>○集会で使用したスライドを見ながら、本時の学習内容のまとめをする。</p> <div data-bbox="360 1106 571 1249" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="580 1106 791 1249" data-label="Image"> </div> <p>○本時の感想を書く。</p> <p>☆モヤモヤが濃くならないように、誰かに気持ちを伝えようと思う。</p> <p>☆モヤモヤが出てきたら、誰かに気持ちを伝えてみようと思う。</p> <p>☆モヤモヤをスッキリさせる方法がいろいろあることが分かった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・集会で使用したスライドを見て、本時の学習内容の理解を深められるようにする。 ・ここらのモヤモヤは、「誰かに気持ちを伝えると、薄くなったり、減ったり、小さくなったりする」ことを伝える。 ・本時の学習で分かったことを書くように伝える。 <p>指：「今日の学習で分かったことをワークシートに書いて、マークに丸を付けましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、自分の気持ちに合うマークに丸を付けさせる。 ・できるだけたくさんの友達と感想を交流できるよう、席を離れてもよいことを伝える。 ・数人の児童に感想を発表させ、全体で共有できるようにする。 |

【ストーリー】

- ①今日の授業中で、答えが分からなくて、自分だけ手をあげる
ことができなかつた。
②休み時間になって、そのことを友達にからかわれた…。

☆そうだんの出し方さんを使って、考えながらやってみよう！

| | | |
|--|--|---|
| <p>出し方さん① <u>どんなことが あったか</u></p>  | <p>出し方さん② <u>どう思ったか</u></p>  | <p>出し方さん③ <u>どうしたいか</u></p>  |
|--|--|---|

「_____」のところは、自分の考えに近いものに○をしましょう！
(いくつ○をつけてもいいです)

【セリフ】

自分：「ねえ、ねえ、ちょっと相談があるんだけど、きいてくれる？」

相手：「うん、いいよ。」(目を見る)

自分：「あのね、授業で答えが分からなくて、
手をあげられなかつたんだ。」



相手：「うん、うん。」(うなずく)

自分「そうしたら、休み時間に友達にからかわれたんだよ。」



相手：「うん、うん。」(うなずく)

自分：
() 「いやだったんだ。

() 「頭にきたんだ。

() 「かなしかったんだ。



相手：「そうなんだね…。」(目を見る)

自分：
() 「だからね、先生に相談しようと思う。

() 「だからね、家の人に相談しようと思う。

() 「だからね、からかってきた友達に、何でからかったか
きこうと思うんだ。

() 「でもね、今きいてもらったからすっきりしたよ。



相手：「うん、うん。」(うなずく)

自分：「きいてくれてありがとう。」

☆おしまい☆